

令和3年11月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

※ 傍聴のお知らせ ※

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力傍聴を控えていただき、インターネット中継をご覧ください。

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
12/1(水) 午前	1	山田 貴子	一括	3
	2	村松 和幸	一括	5
	3	竹村 眞弓	一括	6
12/1(水) 午後	4	鈴木 賢和	一括	7
	5	竹野 昇	一括	9
	6	安間 亨	一括	12
12/2(木) 午前	7	鈴木 弘睦	一括	14
	8	黒岩 靖子	一括	16
	9	村井 勝彦	一問一答	17
12/2(木) 午後	10	大場 正昭	一括	18
	11	木下 正	一問一答	20

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	18	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	遠州の花火 新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続でふくろい遠州の花火は、中止されました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて安全・安心を第一に是非開催されることを願います。市としての考えをお伺いします。 (1) 開催するか、否かは、袋井商工会議所が決めることと思いますが、市としても相談に乗ってより良い方向性を導いて欲しいのでお伺いします。 (2) 開催されるようであれば、運営も日本一を目指し、市として、より安全・安心にするために、従来より人手を多く確保する必要があるのでは、お伺いします。 (3) 市道掛之上祢宜弥線(原野谷川親水公園の隣接道路)の道路整備計画では、高さ約3.5mかさ上げされ、花火大会の観客席が減少すると伺っています。地域資源であるふくろい遠州の花火の継続、実施支援のため、道路法面部分を階段化するなどして、観客席の確保が出来ないかお伺いします。				市長
2	道の駅 袋井市は、物流の大動脈になっていますが、ドライバーの休息場所がありません。そこで伺います。 (1) 国道1号バイパスで、国本地区は一旦下道になる場所なので、コンビニエンスストア等で、長時間休息しているのが見受けられます。より安全に休息をとるために道の駅は、欠かせません。また、防災設備を整え、いつ起きてもおかしくない、自然災害時には、避難場所としても活用できるようになる道の駅を作るべきと考えますが、市の考えを伺います。 (2) 地場産品の販売拠点として利用でき、市内の特産品であるふくろいブランドのお茶・お米・メロンなどを1カ所で購入出来れば、観光交流起点として経済効果を高め、袋井市のシティプロモーションにも活用出来ますので、市としての考えを伺います。				市長

質問順序	1	議席番号	18	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
3	コロナ禍における学校給食の現状とセンターとしての課題について 袋井市には、学校給食センターが、3カ所あります。中部学校給食センター・袋井学校給食センター・浅羽学校給食センターです。今回は、給食センターの課題についてお伺いします。 (1) コロナ禍において児童生徒の食欲が以前に比べて下がり気味で残食率も少しずつ上がっている傾向がみられると伺っているが、健康管理の面から見ても心配されることから、今後どう対処していく考えなのか伺う。 (2) 児童生徒がより給食を食べたくするための給食提供に向けては、仕切りのあるお皿が必要と考えますが、当局の考えを伺う。 (3) 給食センターの設備については、食の安全を守る上では、調理機器の衛生面の確保に向けて、日々どのような点検管理されているのか。調理機器の更新については、どのような計画をもって更新していくのか伺う。				教育長
4	令和3年度全国学力・学習状況調査 昨年は新型コロナウイルス感染症のため中止され、2年ぶりに行った本市の結果についてお伺いします。 (1) 小学校と中学校の結果は、全国と比べて本市はどうでしたか、お伺いします。 (2) 調査結果のポイントと指導改善のポイント等をまとめて次年度に向けての方向性をお伺いします。 (3) ICTを活用した学習状況はどうでしたか、お伺いします。 (4) 新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業と児童生徒の学習状況・学校の取り組みで気になったところはありませんでしたか。その結果を踏まえての今後の指導をお伺いします。 (5) 袋井の生徒の良いと感じたところをお伺いします。				教育長

質問順序	2	議席番号	5	質問者	村松 和幸
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	クラウンメロンの振興について 本年、クラウンメロンは生誕100周年を迎え、高級贈答品としての需要を確立し、国内はもとより海外でも高い評価を得ています。その確立したブランドと、常に話題性を備えたクラウンメロンは本市のシティプロモーションにおいても欠かせないものとなっています。 しかしながら、近年後継者不足の影響により生産量の減少が続いています。令和元年8月に静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所と浜松支所が合併したこともあり、クラウンメロンの産地及びブランド維持のために、担い手の確保、販売促進に関する支援が急がれると考えることから以下の3点について伺う。 (1) 新規就農者の確保に本市として支援できることはあるか。また、クラウンメロン支所と袋井市が協力して出来ることはないか。 (2) 令和元年に浜松支所と合併したことにより、浜松市でもクラウンブランドのメロンが生産されることになったが、その浜松市と連携して宣伝活動や販売促進が出来ないか。 (3) 燃油の価格高騰により生産コストが増え、生産者を直撃しているが、燃油に対しての支援が出来ないか。				市長
2	高齢者雇用の現状について 人生100年時代を迎え、高齢者の就業ニーズも高くなっています。令和3年度からフルタイム就業において、70歳までの就業確保措置がとられることになりましたが、現在の70歳以上においてはシルバー人材センターとの関わりが多くなっているとのことである。 そのシルバー人材センターについて以下の3点について伺う。 (1) コロナ禍以前と比較して、現在の雇用状況との違いはあるのか。 (2) 現在、袋井・森地域シルバー人材センターには460人余の登録者がいるとのことであるが、人数に対しての仕事量は十分であるか。 (3) 仕事の内容として草刈りや街路樹の剪定が9割以上であるとのことであるが、さまざまな職種へのニーズがあり、新規開拓の必要があると考えるがどうか。				市長

質問順序	3	議席番号	12	質問者	竹村 眞弓	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	加齢性難聴者に対するサポート対策について <p>今日、高齢化が進み、人生100年時代と言われ健康年齢も年々伸び、高齢者の果たす役割は地域社会においてますます大きくなっています。そして、高齢者自身も人生経験を活かし、社会に貢献できることを願っています。</p> <p>その反面、高齢化とともに加齢性難聴者も増加しています。普通に聞こえていた人が、音は聞こえるが言葉がわかりにくいなど多くの高齢者が悩んでいます。</p> <p>(1) 高齢者への聴力検査を検診項目に入れ、早い段階から難聴の程度を確認する必要があると考えるがいかがか。</p> <p>(2) 「日本一健康文化都市」を目指す本市において、中等度の加齢性難聴者に対し、補聴器購入費助成制度を創設し健康長寿のまちを目指すべきであると考えがいかがか。</p> <p>(3) 月見の里学遊館やメロプラザなどの各公共施設や市民参加の行事などへ、ヒアリングループ（磁気ループ）の設置を推進し、難聴者への合理的配慮が必要だと考えるがいかがか。</p>				市長	
2	児童生徒の心の健康問題への支援体制について <p>近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、児童生徒の心身の健康問題に大きな影響を与えています。同時に、多様化、深刻化しています。コロナ禍の中で不登校の児童生徒の増加も報告され、本市においても昨年より不登校児童生徒の増加が見られます。児童生徒の多様化するストレスに、学校や教員では十分に解決することができない課題も増えています。担任が一人で問題を抱えて疲弊し、保護者の不安も増すばかりとなります。このようなストレスの悪循環を防止することが求められます。</p> <p>(1) 児童生徒の心身の健康問題に対し、本市における具体的な取り組みについて伺いたい。</p>				教育長	

質問順序	4	議席番号	2	質問者	鈴木 賢和	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<p>女性の視点を活かした防災会議と女性防災リーダーの育成</p> <p>内閣府第5次男女共同参画基本計画では、地域防災会議の女性委員を3割にする目標を立てています。しかし、本市の地域防災会議の出席者のうち、女性委員比率が13.6%と低いと思われます。</p> <p>(1) 地域防災会議に女性委員を増やすことについて、本市のお考えをお伺いいたします。</p> <p>(2) 防災対策に女性の視点を反映させたハンドブックを作成し、防災対策の意識を高めることが肝要であり、ひいては女性防災リーダーを育成することが重要と思われますが、本市のお考えをお伺いいたします。</p>				市長	
2	<p>気象庁等による地域気象防災支援の取り組みについて</p> <p>地元気象台と各市町村の担当者同士が緊密な連携関係を構築している。具体的な取り組みとして、平常時には、気象防災ワークショップなどの開催や、防災気象情報が地域ごとに活用され共有されています。また、災害時には、早い段階から記者会見をし、首長の助言などされています。</p> <p>(1) 本市と地元気象台の連携状況と、具体的な取り組みについてお伺いいたします。</p> <p>気象庁は、平成29年度に地方公共団体の防災の現場で即戦力となる気象防災の専門家を育成することを目的とした「気象防災アドバイザー育成研修」を実施し、全国で84名が委嘱されています。行政・地域住民の声に臨機応変に対応していただけます。</p> <p>(2) 静岡県においても気象防災アドバイザーが活躍されていますが、本市において活用状況をお伺いします。</p> <p>内閣府、消防庁等には地方公共団体の防災業務を担当する職員を対象にした研修や訓練を定期的実施しており、最新の気象行政の動向や防災気象情報の実践的な利用方法を情報提供している。</p> <p>(3) 研修や訓練の参加状況についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 研修や訓練が防災訓練に反映されているのかお伺いいたします。</p>				市長	

質問順序	4	議席番号	2	質問者	鈴木 賢和	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	飲酒運転根絶に向けた施策について 令和3年6月28日に千葉県八街市で飲酒運転によって児童5人が死傷しました。本市において通学路の整備が行われていますが、この事故の主な原因は飲酒運転によるものと思われます。 (1) 飲酒運転根絶について本市の考えと取り組みについてお伺いいたします。				市長	

質問順序	5	議席番号	11	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	災害時みなし仮設住宅事前確保について 災害はいつ起きるか分からない。家を失ったり、半壊などで自宅に住めなくなった被災者は市が定めた避難所で避難生活をするが、1週間以上も体育館などでの集団生活はプライバシーや静かな生活を確保できず、疲労・ストレスなどがたまり、限界がある。市職員や地元自治会による避難所生活支援も、長引けば負担が大きくなる。 国や県による被災者への住宅支援（仮設住宅建設やみなし仮設住宅確保）は時間がかかる。袋井市が事前に一定数のみなし仮設住宅を災害時に所有者に提供してもらう協定を結んでおけば、被災者の入居は早くできる。 NSKワナー高南寮は空室が多く、会社も社会貢献として空いているスペースを静岡理工科大学の学生やヤマハで働く外国人労働者に使ってもらっている。また市内にはたくさんの空き家（アパートの空き室含む）があり、それらの所有者の理解があれば、みなし仮設住宅として提供してもらえる。 (1) NSKワナー高南寮を所有するNSKワナー株式会社とみなし仮設住宅提供の協定を結ぶことを望むが、当局の考えを伺います。 (2) 都市計画課が調査した空き家の実態をもとに、来年度にかけてみなし仮設住宅として災害時に使用できるかどうか所有者の意思を確認し、可能な空き家をみなし仮設住宅に提供してもらうための協定を、来年度中に結ぶことを求めるが、当局の考えを伺います。				市長
2	学童保育夏休みなど長期休暇中の預かり時間延長と支援員の待遇改善について 現行では、夏休みなどにおける受け入れ開始時間は午前7時45分となっている。保護者の職場が遠く離れていたり勤務時間などの都合で、もう少し早い時間から預かってほしいとの要望が出ている。子育て世代が市外に転出することなく袋井市に定住し、安心して仕事ができる環境を整えるため、また学童保育の質を高め人員確保の観点からも待遇改善が必要である。 (1) 朝の預かり時間を早くしてほしいと望んでいる保護者がどれくらいいるのか、またその時間は何時からを望んでいるのかを、まず調査してもらいたい。 (2) 調査の結果、一定数の希望があった場合、来年度予算措置をして要望に沿える人員確保を望むが、当局の考えを伺います。 (3) 学童保育にあたる放課後児童支援員及び補助員の待遇改善を望むが、当局の考えを伺います。				教育長

質問順序	5	議席番号	11	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
3	<p>小中学校支援員の増員と外国籍児童生徒及びその保護者との意思の疎通に欠かせない通訳増員、スクールカウンセラー各学園2名配置及び働く時間の延長について</p> <p>民生文教委員会が小中学校の学校職員との意見交換会を実施した際、多くの先生から支援員がいてくれて助かるが、特別支援学級や普通学級においても目を離せない子どもが多く、さらなる増員を望む声がたくさん出ました。また、その後個別に現場の先生の要望を聞いたところ、不登校児童生徒や外国籍の児童生徒が増え、スクールカウンセラーと通訳の増員を求めていることが分かりました。先生の負担を減らし、手厚い教育支援体制を築く観点から、以下質問します。</p> <p>(1) 支援員を募集・雇用する際、勤務時間が1日5時間となっているが、4時間しか勤務できない人や6時間でも勤務可能な人がいる。柔軟な採用ができるように出来ないものか。</p> <p>(2) 1学年に一人支援員が配置されていても、その学年が複数クラス及び特別支援学級がある学校では、支援員が先生の手助けを十分にできない。保護者の希望で本来支援学級に入ったほうがよいと思われる子が普通学級に在籍するケースもあり、教育現場は支援員の増員を強く望んでいるが、教育長はこの現状をどう認識されているか。また、来年度増員を検討していただきたいが、当局の考えを伺います。</p> <p>(3) 外国籍児童生徒が多い学校は、通訳者の複数配置が望まれる。増員の検討を望むが、当局の考えを伺います。</p> <p>(4) 不登校児童生徒がコロナ禍で増え、各学園に1名配置のスクールカウンセラーでは十分な心のケアができない。保護者への対応も同じである。スクールカウンセラーを各学園に2名の配置と8時間働けるよう検討を望むが、当局の考えを伺います。</p>				教育長
4	<p>浅羽支所利活用・仮称「こども交流館 あそびの杜」の再検討について</p> <p>現段階では問題が多すぎる。今の構想では袋井市南部都市拠点の中核施設である浅羽支所の利活用が活かされない。根本的な計画の見直しが必要である。地元との協議も十分なされていない。</p> <p>(1) 11月17日、袋井市南部自治会連合会長及びコミュニティコミセンター館長会議において、当局側に地元からいろいろな意見が出された。6月市議会定例会で市長が一般質問への答弁で児童館的な施設を作りたいと述べているが、現段階における生涯学習課の「こども交流館 あそびの杜」構想と具体化に向けての計画について、市長の考えを伺います。</p>				市長

質問順序	5	議席番号	11	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
4	<p>(2) スケジュールを見直し、令和4年度は地元自治会連合会と浅羽支所職員も入る仮称「支所利活用検討会議」で、まちづくりの観点から浅羽支所利活用についての協議や、子育てに関係する地元関係団体、近隣小中学校の先生及び浅羽中学校生徒会、浅羽図書館職員などで構成する仮称「こども交流館検討委員会」で、どのような施設が良いのか十分話し合うべきだと思うが、当局の考えを伺います。</p> <p>(3) 今年度の補正予算で、「こども交流館 あそびの杜」構想の詳しい内容をプロポーザルで民間委託事業者に提案してもらうことをやめるべきだと思うが、当局の考えを伺います。</p> <p>(4) メロープラザ2階の親子交流広場は素晴らしい施設であり、これを残すことを前提に、未就学児は親子交流広場で、それ以上の児童を対象にした新たな子どもの施設を検討すべきと考えるが、当局の考えを伺います。</p>				教育長

質問順序	6	議席番号	4	質問者	安間 亨	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	アーバンスポーツ（都市型スポーツ）の振興について 離れ技を売りとする過激な要素を持つエクストリームスポーツの一種で、公園や路地裏などで楽しむ遊びとしてはじまり、都市型スポーツとも言われるアーバンスポーツ。東京2020オリンピックにおいても、スケートボード、BMX、スポーツクライミング、3人制バスケットボール3x3などが新たな競技として採用され、日本人メダリストも誕生した。若者たちを中心に人気を集め、今後の競技人口の増加が予想されるなか、練習場などハード面の整備が大きな課題として挙げられる。アーバンスポーツの振興に向けた本市の考え、取り組みを問う。 (1) 本市は、アーバンスポーツの啓発や体験機会の提供など競技人口の増加を図る取り組みを行っている。さらなる普及を目指す上で、アーバンスポーツの実施環境の整備をいかに進めていくか。 (2) 市内外から多くの若者が集う「広岡河川公園内スケートパーク」。本市にとって極めて貴重な施設であり、老朽化の進む施設の改修や拡充が必要であると考えがどうか。 (3) スポーツとの多様な関り方が、学校教育においても求められる。本市の学校教育におけるアーバンスポーツの位置付けや具体的な取り組みは。				市長	
2	自転車利用の推進に向けて これまで本市は、「自転車を活かしたまちづくり」を進めてきた。自転車の活用を総合的・企画的に推進することは、地域全体を豊かにすることにつながり、今後も、継続的かつ全庁的な取り組みがより一層求められるのではなかろうか。 (1) 「自転車を活かしたまちづくり事業」の進捗状況と、成果および今後の進め方は。 (2) 本市における自転車損害賠償保険の加入状況は把握しているか。 (3) 国の「第2次自転車活用推進計画」を受け、全国の自治体において、地域の実情に応じた「地方版自転車活用推進計画」を策定している。本市も策定すべきと考えるがどうか。 (4) サイクルツーリズムの推進として、市内観光地をめぐるサイクルルートを設定し、観光振興につなげてはどうか。				市長	

質問順序	6	議席番号	4	質問者	安間 亨
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
3	ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）について SDGsの社会的認知の広がりにより、農業や再生可能エネルギーの活用が改めて見直されている。営農型太陽光発電とも呼ばれるソーラーシェアリングが注目を集め、国も積極的な推進を図るなか、本市の取り組みや方針を問う。 (1) 本市におけるソーラーシェアリングの現況と今後の基本方針は。 (2) 普及を図るため、市内にモデル地区の導入を提案するがどうか。				市長

質問順序	7	議席番号	8	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	袋井市の農業政策の取り組みについて 袋井市においても、農業者の高齢化や担い手不足等による問題を抱えている。持続可能な農業を行うために、袋井市では県営農業競争力強化農地整備事業を選択し基盤整備を進めようとしている。この事業について市としての考えを伺う。 (1) 県営農業競争力強化農地整備事業と農地中間管理事業の違いと競争力強化事業の選定理由について伺う。 (2) 県営農業競争力強化農地整備事業の事業スキームについて伺う。 (3) 県営農業競争力強化農地整備事業の実施区域と隣接する農地とでは農振法上の差はあるのか伺う。				市長
2	新型コロナウイルスワクチン接種と感染症対策について 新規感染者の状況や病床占有率がともに大幅に改善されてきている。しかし油断はできず、今後も感染抑止を行いながら各感染症対策を状況に即した形で進めなければならないと考える。そこで袋井市においての新型コロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ今後の対策等について伺う。 (1) 県内の新型コロナウイルスワクチン接種率の状況から市の見解を伺う。 (2) 月見の里学遊館とメロープラザの利用状況と支援策について伺う。 (3) 地域経済の循環を促してきた祭り等の再開について、市の考えを伺う。 (4) 祭り等の地域行事へのデジタル形式での接種証明書やワクチン・検査パッケージの活用について市としての見解を伺う。 (5) 各種団体主導のイベントや民間が主催するコミュニティイベントに対する支援や情報発信へのサポートの考えについて伺う。				市長 教育長 市長

質問順序	7	議席番号	8	質問者	鈴木 弘睦	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	経営基盤強化に向けたDX導入支援策について 日本企業全体のうち、約9割を占める中小企業でその多くがDX(デジタルトランスフォーメーション)を推し進めるために、ビジネスの変革を行っている。市長の所信表明にもあった産業経済がスマイルを具現化するためにもデジタル社会に対応した小売店や飲食店等の零細企業も経営基盤強化に向けたIT技術の導入は重要で、経営基盤が弱い零細企業にとってはIT化を進めるためには行政との連携が必要である。したがって導入支援を継続的戦略とするべきと考えるが市の見解を伺う。 (1) 市内零細企業のDX導入に向けた経営基盤強化への支援を今後どのように進めていくのか考えを伺う。 (2) 自社ECサイトで消費者にダイレクトに商品を販売する手法としてのD2C(Direct to Consumer)が注目を集めている市内企業の経営強化の手法として市の見解を伺う。				市長	
4	袋井市内喫煙所撤去後の周辺環境について 袋井市は令和3年7月1日より受動喫煙の防止や喫煙者の減少を努めることを目指し、袋井市たばこによる健康への影響から市民を守る条例を施行し、各事業や施策を進めている。その一環として袋井市は袋井駅喫煙所の撤去を行った。撤去後の影響等について市としての見解を伺う。 (1) 喫煙所撤去後の影響について市としての見解を伺う。 (2) 袋井駅周辺の清掃に携わる方々や市民の声について伺う。				市長	

質問順序	8	議席番号	3	質問者	黒岩 靖子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	有機農業の普及について 農林水産省は 2022 年度「強い農業作り総合支援交付金」に新たに、優先枠を設け、「みどりの食料システム戦略」の推進に向けた補助する枠を新設。温室効果ガス排出量の実質ゼロに向けて、施設整備を支援し、2050 年までに全農地の 25%に当たる 100 万ヘクタールに拡大し、有機農業の人材育成や学校給食への使用などで、地域住民に浸透することを支援し、環境負荷の小さい農業に転換するハードルを下げる方針。これは、SDGs の目標にも値する取り組みである。 (1) 袋井には田んぼが多く、化学肥料ゼロ、除草剤ゼロの美味しいお米が実際にあることから、市民の健康と稼ぐチカラに向けた取り組みの考え方について伺う。 (2) 袋井で有機肥料は足りないため、その取り組みに対し交付金を支援する考えはないか。				市長
2	犬・猫殺処分ゼロについて 猫は生まれて半年で出産することができ、1年で3回から4回、子どもを産むことができる。のら猫に無責任に餌をあげる人がおり、のら猫が増えているのが現状。結果、事故や虐待に遭遇する不幸な猫がいる。そのような猫を増やさないために、不妊手術が必要だが補助金が足りないのが現状である。 (1) 袋井市で犬猫殺処分ゼロについて取り組んでいる事例があれば、市としての考えを伺う。 (2) のら猫を捕まえて不妊手術をする場合、環境政策課に補助金を申請して費用の3/4を補助してもらっているが、年度途中で補助金が足りなくなっているのが現状である。現状に見合った補助金に近づけるよう取り組む考えはあるか伺う。				市長

質問順序	9	議席番号	6	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	公共建築物等における木材の利用の取り組み 木材については、断熱性、調質性等に優れ、紫外線を吸収する効果などの性質を有し、また、再生可能な資源でもあることから、木材の利用の促進を図っていく必要がある。				市長
	(1) 「袋井市公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」に基づく取り組み状況は。 (2) 公共建築物等における木材利用に関する進行管理の状況は。 (3) 小規模施設や低層施設を木造化することに関する考え方は。 (4) 中規模以上の施設への内装等の木質化に関する考え方は。 (5) 静岡県は「森の力再生事業」を実施しているが、本市においてはどのような事業が行われてきたか。 (6) 令和元年度から令和2年度において、森林所有者に対してアンケート調査を行っているが、その結果はどのようなになっているか。また、アンケート調査の結果に基づき、今後どのような対応を検討しているか。 (7) 農林事務所単位で設置されている「地域連絡会」における検討状況は。				
2	公共施設の利用の向上に向けた取り組み 市民が利用する公共施設の利用に関して、現状における施設利用稼働率が低調であることから、利用の向上に向けた取り組みについて検討すべきではないか。				市長
	(1) 施設利用稼働率が平均27%と低調であるが、この要因についてどのようなことが考えられるか。 (2) 現状における公共施設の投資的効果をどのように評価しているか。 (3) 今後、公共施設の利用の向上に向けて、どのように対応していくか。				

質問順序	10	議席番号	16	質問者	大場 正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>ごみ処理の有料化について</p> <p>ごみの減量化は、国の指針に沿った地球温暖化対策の必要性や、中遠クリーンセンターの処理能力等を考えると、わが市にとって差し迫った課題である。本年7月以降、市内14会場で「ごみ処理の有料化に関する市民説明会」が開催された。</p> <p>ごみ減量の手段の一つということで、「有料化を導入していきたい。」という案が示されていたが、説明会の結果を踏まえ、11月5日の全員協議会では、「2030年に30%のごみの減量を目指す、令和4年度からの有料化については先送りする。」という指針が示された。</p> <p>(1) この度の見直しに伴う、市の考え方について伺う。</p> <p>ア 減量の目標について</p> <p>有料化の導入については、東洋大学名誉教授、山谷修作氏の「減量化に効果が期待できるのは、1枚当たり（30リットルの袋）30円以上（1リットルにつき1円）」との研究結果を根拠にしているが、今回の有料化先送りにより、「2030年に30%のごみの減量」も見直すのか。</p> <p>イ 地球温暖化対策としての取り組みについて</p> <p>本年6月に示された「地域脱炭素ロードマップ」では、「全国津々浦々で取り組むことが望ましい脱炭素の基盤となる重点対策」として、「家庭ごみ有料化の検討・実施」と記載されている。説明会でも地球温暖化対策としての有料化ということを書いていたと思うが、今後、有料化について導入する考えはないのか。</p> <p>ウ 減量に向けた取り組みの財源について</p> <p>市民説明会では、「有料化の収入を使い、さまざまなごみの減量化策を行う。」ということで、雑紙や、草木の回収、生ごみ処理機の補助等も案として示されていたが、先送りとなったことでこれらの減量化策を行うことはなくなるのか。もし行う場合、必要な経費の財源はどのようになるのか。</p> <p>(2) 袋井市森町広域行政組合議会10月定例会において、中遠クリーンセンターへの搬入手数料の改正案が可決となり、令和4年度から値上げとなるが、今後市の施策にどのように反映していくのか。</p>				市長

質問順序	10	議席番号	16	質問者	大場 正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	公共施設への電力供給等業務について 第2期袋井市環境基本計画では、市全体の温室効果ガス排出量を2013年度比で23%削減を目指している。国の2030年達成目標の引き上げに伴い、速やかなる目標の改定が必要と考える。				市長
	(1) 電力供給等業務のプロポーザルについて ア PPA（電力購入契約）施工業者からすると、実施要領に記載されている15年の供給期間では、収支が合わないように感じるがどうか。20年契約が望ましいのではないか。 イ 太陽光パネルなどの部材が高騰している。こうした不確定要素を見込んでのプロポーザルは有効なのか。 ウ PPA期間終了後は、一般的には無償譲渡が基本である。わが市の基本的な方針はどうか。 エ オフサイト（野立て）高圧発電所を設置するにあたり、採算がとれる場所がないと思うがどうか。営農型発電所をベストと考えるがどうか。				
	(2) 脱炭素社会への取り組みについて ア 国からの補助金を受けるだけで、将来に向けたゼロカーボンシティのイメージがわからないがどうか。 イ 上記のことも含め、電力の調達方法として、さまざまなバリエーションを検討したほうが良いと考えるがどうか。電力の「地産地消」を発信したらどうか。 ウ わが市の将来を担う子どもたちのため、強いメッセージを盛り込んだらどうか。				

質問順序	1 1	議席番号	1 0	質問者	木下 正	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	子ども読書活動推進についての課題について (1) 図書館の在り方について問う。 (2) 家庭での取り組みについて問う。 (3) 図書館司書の活用について問う。 (4) 袋井市子ども読書活動推進計画（第4次）素案の検証方法について問う。				教育長	
2	小学校の教科担任制の取り組みについて (1) 中学校教員の小学校教員の免許取得への取り組みの援助について問う。 (2) 複数の小学校の連携による合同授業への取り組みについて問う。 (3) 一貫教育のためグループ化している小中学校連携の取り組みについて問う。 (4) 小学校中学年から中学校までを同一の教員が担当する取り組みについて問う。 (5) ICTを活用した遠隔合同授業の取り組みについて問う。 (6) 教科担任制と先生の働き方改革について問う。				教育長	
3	市長のマニフェスト達成のための方針について (1) 市民との直接対話への取り組みを問う。 (2) 各種団体との直接対話への取り組みを問う。 (3) 中小企業者との直接対話への取り組みを問う。				市長	